

平成30年度

北町中学校グループ 小中一貫教育

北町中学校グループ

北町中学校 北町小学校
北町西小学校

目指す児童生徒像

- ・自己肯定感を高め、自分に自信をもち、様々な活動に積極的に取り組める児童生徒。
- ・小学校から中学校への環境の変化に適応できる児童生徒。
- ・北町中学校区の地域を愛し、地域のために率先して活動できる児童生徒。

I 小中一貫教育の推進

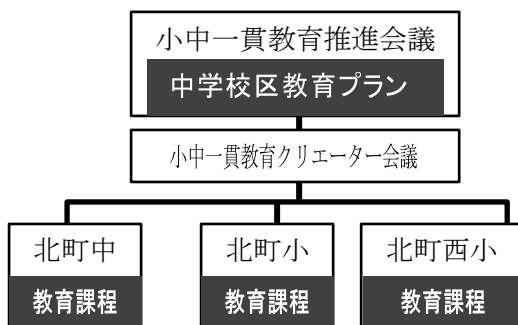
1 目指す児童生徒像の具現化に向けた取組

- (1) 学習指導分科会
 - ・課題改善カリキュラムの作成（国語）
 - ・課題改善カリキュラムの検証・修正（理科）
 - ・リトルティーチャー
 - ・外国語の出前授業
 - ・授業見学
- (2) 特別活動（児童生徒交流）分科会
 - ・課題改善カリキュラムの検証・修正（特別活動）
 - ・児童会・生徒会交流
 - ・合同挨拶運動
 - ・学校だより等の交換（掲示コーナーの設置）
- (3) 生活指導分科会
 - ・生活のきまりスタンダードの定着
 - ・児童生徒の情報交換
 - ・部活動体験

中学校区の特徴

- ・3校とも敷地が離れ、ある程度の距離がある。
- ・進学する中学校が北町中学校だけではなく他の学区にもまたがっている。
- ・これまでも部活動体験などの小中交流を行ってきた。

2 教育プラン推進のための推進組織



主な予定(年間計画)

- | | |
|---------|---------------------------|
| 4月 4日 | 北町中学校区別協議会
(北町中) |
| 6月 22日 | 第1回北町中学校区校区別
協議会(北町中) |
| 11月 12日 | 第2回北町中学校区校区別
協議会(北町西小) |

II 実践校の特色ある取組

1 成果と課題

(1) 学習指導分科会

夏休みの各小学校の補習授業に中学生がリトルティーチャーとして参加した。小学生は、分からないことを気軽に質問し、個別に指導してもらえることで、苦手分野の改善が見られた。中学生にとっては、自分が教えることで、できなかったことができるようになるのを見ることができ、自己有用感を高めることにつながった。

課題改善カリキュラムは、今年度から国語の『読解力を身に付けるための言語活動（基礎基本）の充実を図る取り組み』が始まった。理科は、昨年度作成したものの検証をする段階である。小学生の感覚で捉えたものに理論を結びつけられるように、小学校から中学校につなげているところである。

(2) 特別活動（児童生徒交流）分科会

11月21日に児童会・生徒会が集まり、挨拶運動のパワーアップ会議を行った。12月の挨拶運動を盛り上げるための工夫を話し合い、小学校、中学校それぞれで考えた工夫を共有し、取り入れられるものは各学校で採用していくことを確認した。

学習指導要領の改訂に伴い、共有すべき重要な内容を話し合った。それぞれの発達段階に応じた教師の手だてについて意見交換を行った。

(3) 生活指導分科会

「特別支援を擁する生徒への対応」を中心に話し合った。発達障害の情報共有を学年が上がる毎に教員間で共有することの大切さを確認した。

10月の部活動体験では、小学6年生にクラブの活動内容や楽しさを、中学生が体験を通して伝えることができた。

リトルティーチャー



挨拶運動パワーアップ会議



小中合同挨拶運動



部活動体験

